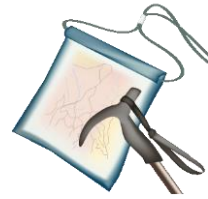


日本百名山完登



2013.9.23(月)午前 11:13 分 焼岳(北峰)にて

念願の百名山 2 巡目を達成しました。

当日は、晴天とは言え頂上からの穂高連峰が見え隠れでしたが暖かく風もない 2393m の北峰が日本百名山の達成を迎えてくれました。

自宅を早朝に出発、安房峠 新中湯温泉登山口 (第 10 カーブ)からの日帰り登山での快挙でした。



振り返り、2 巡目は、平成 18 年 (2006 年)よりスタート、その年に 2 座、19 年は 1 座、20 年には、3 座と、2 巡目を完登などとは、思ってもいませんでした。忘れ物、足跡を取りに！と軽い気持での登山でした。

百名山 1 巡目は、2005.07 に、三百名山を 2010.08 に登頂してから 3.1 年の完登となります。



改めて思うことは、百名山は、どの山もそれぞれ特徴があり、威厳がある名山です。なかなか簡単には頂にはあげてくれません。頂上からの景観も 1 巡目とは違った、見るものがあります。

1 巡目とは違い、コース、時季、また縦走できるものなら、単独登山はどうか等 あれこれ思いながらの登山でした。

余裕を持って、2 日コースを 3 日掛け、3 日を 4 日間と無理をしない楽しい山旅に心がける筈でしたが、、、、。

私の山日記から、前半は、2008.7 沼ノ原～トムラウシ山～オプタテシケ山～十勝

岳~富良野岳の5泊6日 雨の大縦走でした。続いて2009.07トツタベツ岳からの幌尻岳、七つ沼カール 夜更けまでお酒がすすみ、懐れのカールにカラオケがこだましました。2010.8 西穂高岳~ジャンダルム~奥穂高岳 さらに2011.9の槍ヶ岳は、貧乏沢からの北鎌尾根、頂上直下のヒバークが思い出されます。続いて2012.8 槍・穂高岳縦走 西穂、奥穂、中岳から雨模様、たった1人での縦走、やっとの思いでたどり着いた槍ヶ岳山荘。同夜、思いがけず新発田市出身のフルート奏者、桂姉妹のコンサートを聴くことができ、3000mの天空からの演奏は、感激でした。

後半の部は、2012.04 宮之浦岳は、雨で屋久島に1日延期となりました。以後は、晴れの日を狙って登るように心がけました。

百名山も最後半に拍車がかかり、この8~9月には13座(内3000m=6座)も登りました。

最後のこの8~9月は、劔岳~立山~薬師岳の縦走や9月には、南アルプス 光岳 聖岳、悪沢岳、赤石岳を踏破。荒川岳は、榎島ロッジから千枚小屋での泊を欲張り、中岳の避難小屋まで延ばしました。3060mの山小屋は、富士山、北穂、赤石岳避難小屋に次ぐ槍ヶ岳山荘と同じ標高で日本で4番目の高さの山小屋での泊まりとなりました。99座目は、800km 走行し米子の大山へ、その4日後に達成の山 焼岳となりました。

全山を通して、ハプニングの連続のなか、無事登れたこと、達成できたことを喜び、お力添えいただきましたみなさまに感謝申し上げます。

百名山2巡目といっても、とうの昔に達成された多くの先輩、冬山や外国の山、ロッククライミング等のジャンルがあるなかで、最もリスクの少ない百名山でありませぬ。自慢できることではありませんが、有森裕子の“自分で自分を褒めてやって”の言葉が思い出されます。

百名山2巡目は、70代中盤での達成、私の山日記の集大成でもあります。

9/23 帰宅後、一人での反省会 総集編の百名山、お酒がすすんだのは、言うまでもないことでした。

“焼岳に 百を刻んだ 旗なびく”

9/30

Y.Hasegawa

わたしの山日記 大自然を往く ご参照下さい。(アドレス:下記)

URL : <http://www.geocities.jp/hndyha/>

<http://www.sanjo.nct9.ne.jp/hnd-yha/>